

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 金沢市立富樫小学校 (※正式名称を記載)

種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>

中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校

教員養成大学  専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例: 小中高一貫 )

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒921-8175

金沢市山科町3丁目6番60号

E-mail togashi-e@kanazawa-city.ed.jp

Website http://cms.kanazawa-city.ed.jp/togashi-e/

幼児児童生徒数 男子 219 名 女子 208 名 合計 427 名

幼児・児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

## 3. 活動内容

### (1) 活動の概要

本校は、「課題を見つけ、考え、主体的に判断し、問題を解決しようとする資質を育てよう」をユネスコ理念とし、子どもに身近な「人・もの・こと」と主体的にかかわり、体験的で探求的な教育の実践を通して、考え、行動し、発信する力の育成を目標とした。

1, 2年生は、「身近な自然」、3, 4, 5年生は「地域自然、伝統、農業」6年生は、「金沢の歴史」に関して、体験活動や調べ学習、その成果の発表を行った。

#### ① 1年生「季節と遊ぼう」

季節ごとに地域の川や公園へ出かけ、ネイチャーゲームなどを行い、見つけた自然について調べ学習を行い発表した。秋には、公園で見つけた木の実や落ち葉などで秋のおもちゃをつくり、季節を楽しむことができた。

#### ② 2年生「町たんけんで大発見しよう」

春には、富樫校区の公園や施設やお店などのすてきなところを探検し、秋には、富樫校区のすてきな人を探し、大きな探検マップを作った。探検の際には、地域の自然や施設、人と直接触れ合うことで、さらに富樫の良さを実感することができた。

③ 3年生「富樫校区のよさを発見しよう」

富樫校区が市内有数の竹の子の産地であることを生かし、地域の方から竹の子について教えてもらい、実際に竹の子掘りを体験した。調べたことや体験したことを新聞にまとめ交流することで、地域の良さに気づくことができた。

④ 4年生「富樫校区のよさを交流し合おう」

地域にある伏見川の探検から自分のテーマを決め、石・鳥・植物・水の中の生き物などについて、調べ活動を行った。身近な伏見川の新たな面が発見でき、地域の川を大切にしていきたいという思いを持つことができた。

⑤ 5年生「金沢や日本を再発見しよう～食を通して～」

バケツ稲を育てる体験を行い、実際に育てた稲から白米にして食べることができた。また、グループで米に関するテーマを決め、調べ学習を行い交流し、自分たちの主食である米について、問題点などに気づくことができた。

⑥ 6年生「自分の生き方を考えよう～金沢の歴史を通して～」

地域の方に金沢の歴史を聞くことで、身近な地域の歴史に関心を持ち課題を持つことができた。その後、グループ毎に歴史探訪として見学し、調べたことをまとめ、交流した。金沢が歴史と伝統を大切にしている町であることを知り、これからも文化的な価値を守り、ふるさとを大切にしていきたいという思いを持つことができた。



①公園を探検する1年生



②町を探検する2年生



③竹の子を掘る3年生



④川を調べる4年生



⑤米を脱穀する5年生



⑥歴史の発表をする6年生

## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

#### ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

#### ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

#### エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

--

- ②ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

本校では、「人にやさしく自分に強く」教育目標を受け、課題を見つけ、考え、主体的に判断し、問題を解決しようとする資質や能力を育てるという基本的な考え方のもと、子どもに身近な「人・もの・こと」と主体的にかかわり、体験的で探求的な教育実践に取り組んでいる。

生活科や総合的な学習の時間を中心に、1、2年生は身近な自然や遊び、3、4、5年生は地域や伝統文化・農業、6年生は金沢の歴史を舞台に見学、発表を行っている。

今年度は、ESD カレンダーの作成、地域の情報収集に取り組んできた。

- ③学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

年度当初、各学年で生活・総合的な学習で大切にすることを確認し、他教科とどの内容とつながっているかを示した「富樫 ESD カレンダー」を作成した。各学年の学習の発表は、保護者・学習に協力していただいた地域の方々にも参観していただき、それぞれ成果と今後の課題を明確にすることができた。

- ④ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

各学年とも、それぞれの活動を通して、「人・もの・こと」と主体的にかかわることができた。自分が学んだことを発信するにあたって、各学年で保護者や地域の方を招待し、工夫した発表をすることができた。校内では、ユネスコ活動の掲示板を作り、他学年への発信も行った。

来年度は、小中一貫校との掲示物の交流や他学年との発表の交流など活発化させていきたい。

- ⑤ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（200字程度）

※チェック事項 2-2 に対応

各学年の発表で、学習に協力していただいた地域の方や保護者を招き、学習の成果やそれを作り上げる児童の様子を見ていただいた。地域の方からは、「自分が声をかけたことを子ども達が理解し、一生懸命取り組んでいる姿が見られて嬉しい」と言葉をいただいた。また保護者から、「子ども達の堂々とした成長の姿が見られた」など感想もいただき、地域と保護者との関係を深めることができた。

- ⑥学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）  
（200字程度）

※チェック事項2-3に対応

3年生は、地域の和菓子屋さんや和菓子についての説明や、和菓子作りの指導をしていただいた。地域の竹の子農家の方には、栽培の説明を聞き実際に竹の子ほりも体験させていただいた。4年生は、「金沢仏壇組合」の方に金箔の話やうかがい、実際に金箔貼りの体験をさせていただいた。6年生は、歴史探訪の時に、「ふるさと異人館」や「歴史博物館」の方にいろいろな説明をしていただいた。

- ⑦国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

※チェック事項2-4に対応

小中一貫校では、全体の学習の交流は行っているが、総合的な学習の交流は特別に行っていない。今後、成果物の交流などから、行っていただけると良いと思われる。

- ⑧ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

※チェック事項2-5に対応

どの学年も、前学年で培った力を使って、学習内容や方法を自分たちで進めることができ、活動への見通しが持てるようになってきた。

また、「人・もの・こと」と主体的にかかわるように学習を進めていく中で、周りの人や地域の方への感謝の気持ちが育つようになってきた。活動が終わった時に、「お礼の手紙を書きたい」と子ども達から言うようになり、地域の方とのつながりを深めることもできるようになってきた。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

本校は、学年で内容の系統を大切にしていいため、来年度も今年度と同じ内容で活動していく。その中で、今年度課題として考えられたことを改善して進めていきたい。

各学年の発表は、1学年での発表や地域の方々に留まることとなったが、他学年を巻き込んだ交流にすることで、より多くの考えやまとめ方、発表の仕方を知ることができるのではないかと考える。それが、次の学年での学習につながるのではないと思われる。

また、今年度は自校での学年間の交流であったが、小中一貫校での学習の成果物の交流なども考えていくことで、いろいろな考え方、学習方法を知る機会になると考える。

これらのことについて改善を考えながら、平成30年度も、児童の学習を進めていきたい。